

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2020年12月号

- ◇ 【 上海通信 】 中国入国規制の最新動向および留意点 1
- ◇ 【 香港通信 】 香港の新型コロナ第4波とトラベルバブルの延期 4
- ◇ 【 ニューストピックス 】 2020年10~11月の動き 5
- ◇ 【 東アジア駐在員コラム 】 上海冬の風物詩グルメ編「糖葫芦」 7
- ◇ 【 株式市場・為替情報 】 8
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワークのご紹介 】 9

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 1901 室
TEL : +86-21-6209-0258
E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
TEL : +852-2251-9475
E-mail : hongkongrep@

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部



上海通信

－中国入国規制の最新動向および留意点－

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日中間の往来が制限されています。今回は中国入国規制の最新動向と弊行駐在員が実際に体験した渡航時や集中隔離中の留意点などをレポートいたします。

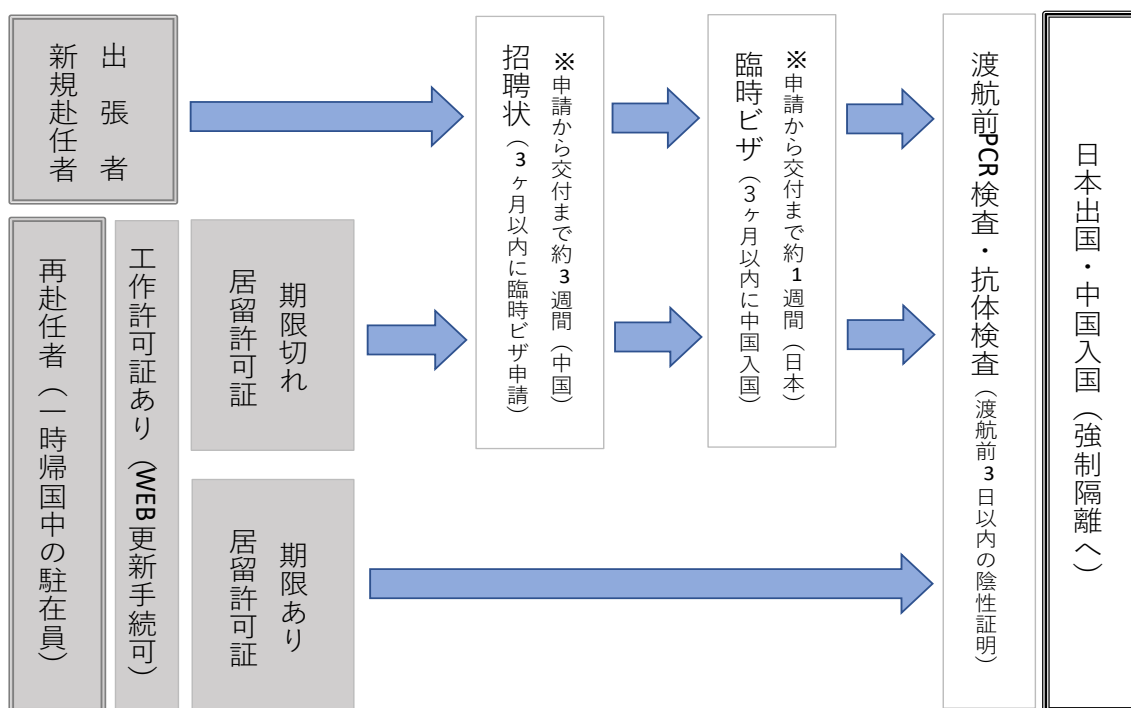
1. 中国入国手続（上海市の場合）

中国ビザの効力停止が発表された3月下旬以降、中国への入国手続は度々変更されていますが、11月末時点における手続の流れは下表の通りです。

新規赴任者であるか再赴任者であるかなど、渡航者の状況により手続が異なります。新規赴任者および居留許可証の有効期限が切れている再赴任者の場合、中国の各省市が発行する招聘状を取得し、中国大使館・総領事館で臨時ビザの申請・交付を受ける必要があります。一方、居留許可証が有効な再赴任者についてはビザなしで渡航が可能です。

中国への出張に関して、一定の条件のもとで中国入国後14日間の集中隔離と日本帰国後14日間の自主隔離が免除される新制度の運用が開始されました。しかし、活動計画書に基づく行動制限が課されるなど、自由な往来とは程遠い状況であることは変わっていないようです。なお、すべての渡航者について搭乗時に中国大使館・総領事館が指定した検査機関によるPCR検査と抗体検査陰性証明および健康コードの提示が必要とされています。

【図表】中国入国手続フロー（11月末現在）



(出所：政府通達等より当事務所作成)

2. 上海市への再赴任体験記（11月6日渡航のケース）

(1) 日本出国時（成田空港）

空港到着時、これまでに経験がないほど人気がなくガラとした雰囲気には驚きましたが、利用する航空会社のチェックインカウンターには既に長蛇の列ができていました。チェックイン時に検温、旅客情報表の提出、PCR 検査陰性証明の提示などが求められるため通常より時間がかかります。チェックイン後の手荷物検査、イミグレーションについても最低限の空港職員で運用されているため、余裕をもって遅くとも出発の3時間前に到着されることをおすすめします。なお、免税店や飲食店などほとんどの空港内店舗が休業となっていました。



<搭乗ゲートの様子>

(2) 中国入国時（上海浦東空港）

降機後、順路に沿って簡易問診、PCR 検査（無料、その場で結果判明）、入国審査へと進みます。その際、中国税関の健康申告アプリをダウンロードし、中国国内住所・連絡先などの個人情報登録した QR コードを各エリアの係員に提示する必要があるためスマートフォンは必須となります。なお、日本語の案内はなく中国語に不安がある場合、現地スタッフと電話連絡が取れるようにしておくとう安心です。これら一連の流れは、新規赴任の方などにはハードルが高いと思われます。

入国後は14日間の隔離措置（原則として集中隔離7日間＋自宅隔離7日間）がとられ、市政府指定ホテルまで居住区毎の専用バスで移動します。入国審査後、居住区別のブースで受付をした後、指定された出発時間まで待機となります。出発時に点呼がないケースもあり注意が必要です。また、この時期の空港構内は非常に冷えますので、厚手のコートや携帯カイロなど十分な防寒対策をおすすめします。



<空港内に設けられた PCR 検査場の様子>

(3) 隔離期間（上海市内ホテル）

隔離中は1日2回の検温のほか、解除前に入国後2度目のPCR検査（有料、120元（約2,000円））も行われます。隔離期間中は部屋から出ることが許されず、ドアを開けることができるのは検温時と1日3回提供される中華弁当が配達される際のみです。閉鎖空間での生活は体調を崩しやすく、現地生活に慣れた駐在員であってもストレスを感じます。室内でできる運動や書籍を持参するなど、ストレス解消策を事前に準備しておくことも有効です。

使い慣れた生活用品、日常的な服用薬などのほか、おすすめする携行物は下表の通りです。

携行物	理由
レトルト食品（日本食）	お弁当に入った白米のアレンジが可能
ルームフレグランス	部屋に染み付いた独特の臭気（カビ臭やタバコ臭など）のリフレッシュが可能
洗濯石鹸（固形）	入浴時に肌着などの手洗いが可能（粉状よりも便利）
クイックルワイパー	ハウスダスト除去が可能（期間中の清掃サービスなし）

また中国のインターネット環境は日本と大きく異なり、ホテルによっては回線が繋がり難いケースもあるようです。日本と同様のネット環境が可能な Wi-Fi ルーターを持参することもご検討ください。



<隔離ホテル部屋内の様子>



<1日3食提供される中華弁当>

3. まとめ

今般の渡航では、自宅隔離が認められず 14 日間を指定ホテルで過ごすことになりました。感染を防ぐという目的からはやむを得ないと思いますが、部屋の清掃が一度も行われぬ、エアコンが効かない、生鮮食品や酒類などのデリバリーが認められないなど、快適とはほど遠い環境でした。ホテルによって状況は異なるようですが、日常とは違った環境下での生活を強いられることは間違いありませんので、最新の現地情報を収集するなど事前準備を万全にすることをおすすめします。

中国への入国手続は、これまで感染状況の変化等により頻繁に変更が行われており、11 月以降は本邦における第 3 波とみられる感染再拡大に伴い招聘状が発行されにくくなっています。また、11 月 30 日より国際的な人の往来再開に向けた段階的措置の一環として、日中両国政府から新たな入出国制度であるビジネストラック、レジデンストラックの運用開始が発表されました。制度概要や留意点などは、実際の運用状況の確認後、改めてお知らせいたします。

当地の規制や渡航に関する各種情報提供、臨時ビザ取得のための専門業者紹介などにつきましては、当事務所までお気軽にご相談ください。

（常陽銀行上海駐在員事務所 主任駐在員 青柳暢幸）

香港通信

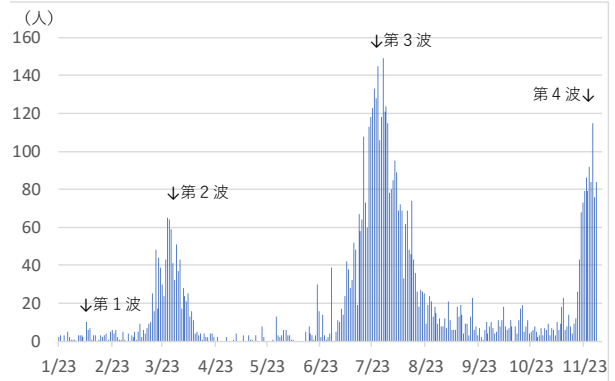
—香港の新型コロナ第4波とトラベルバブルの延期—

1. 新型コロナ第4波の到来

香港では7月初旬から広がった第3波が収束に向かい、9～11月初旬頃には、1日あたりの感染者数が1桁台で推移していたため、飲食店の営業規制緩和や映画館やテーマパークなど娯楽施設が営業を再開し、順調に経済回復するかに見えました。しかし、11月中旬以降感染者が再度急増し、11月29日には、1日あたりの感染者数が115人と約4ヶ月ぶりに100人の大台を超え、コロナ感染第4波に見舞われています。

香港政府は、更なる感染拡大を抑えるため、幼稚園や学校の対面授業停止、飲食店への規制強化や公務員の在宅勤務など厳格な感染予防措置を次々と打ち出し、市民へ外出自粛を呼びかけています。

【図表】香港1日あたり感染者数推移



出所：香港保健署発表より香港駐在員事務所にて作成

2. トラベルバブルの実施延期

香港の新型コロナ第4波を受け、香港とシンガポール間で11月22日に開始を予定していた、双方に到着後の隔離措置なしで往来を認める「エア・トラベル・バブル」の実施が延期されました。

既に航空券は販売され、満席の便も多数あるなど需要が旺盛であっただけに、市民や経済界の落胆は大きいですが、当地報道では中断条件¹が事前に取り決められていたことで、素早く賢明な決断がされたと評価する声もあります。

香港とシンガポールは、都市国家（地域）で国内消費が限られており、小売や観光産業の回復のために外国人観光客を呼び込みたい思惑は一致しており、一刻も早い第4波の収束とトラベルバブルの開始が期待されています。



<香港・シンガポールのイメージ>筆者撮影
(足利銀行香港駐在員事務所 駐在員 鈴木庸之)

¹ 中断条件：感染経路不明の感染者数が7日間の平均で6人以上となった場合に2週間停止。停止期間の最終日に、感染経路不明の感染者数が7日間の平均で5人以下まで低下していれば再開する。

ニューストピックス

○経済

- ・ 9月の香港消費者物価、2.2%下落＝統計局（10/23）
- ・ 中国輸出管理法の対象品目、適切な時期に公表へ＝商務省（10/23）
- ・ 9月の香港輸出、9.1%増＝1～9月は4.0%減＝統計局（10/28）
- ・ 中国、5カ年計画、内需拡大が主軸＝「双循環」盛り込みへ＝5中総会（10/30）
- ・ 7～9月期の香港GDP、3.4%減＝下げ幅縮小（11/2）
- ・ 7～9月期の台湾GDP、前年比3.33%増＝速報値、年率換算は18.89%増（11/2）
- ・ 中国の35年「中等先進国」入り、年5.4%成長が必要＝野村推計（11/3）
- ・ 9月の香港小売売上高、12.9%減＝20カ月連続マイナス＝統計局（11/3）
- ・ 中国輸入、今後10年で2,300兆円＝巨大市場誇示で対米けん制＝習主席（11/5）
- ・ 中国、60億豪ドル相当のオーストラリア産品を輸入禁止か＝地元紙（11/5）
- ・ 10月の中国消費者物価、0.5%上昇＝11年ぶり低水準＝国家統計局（11/10）
- ・ 秋穀物、農家が売り惜しみ＝価格上昇に拍車（11/11）
- ・ RCEP、91%関税撤廃＝世界最大の自由貿易圏に＝中韓と初の協定15カ国署名（11/16）
- ・ 中国小売売上高、回復進む＝コロナ抑制や刺激策で＝10月（11/16）
- ・ 10月の対中直接投資、18.3%増＝7カ月連続プラス＝商務省（11/16）

○金融

- ・ 中国人民銀総裁、成長安定とリスク防止のバランス取る（10/22）
- ・ デジタル人民元の越境決済推進へ＝香港政府（10/23）
- ・ 華晨汽車、10億元の社債デフォルト＝独BMWの合弁パートナー＝遼寧省（10/27）
- ・ 中国の金融機関、不良債権処理増加＝年末にかけさらに加速へ（10/28）
- ・ 中国の債務、9月末でGDP比270.1%＝6月末から3.7ポイント上昇（11/5）
- ・ アント、上海・香港上場延期 当局が指導、融資事業問題視か（11/5）
- ・ 半導体の紫光集団、債券価格急落＝デフォルト懸念で＝北京市（11/16）
- ・ 香港の物価連動債の第7弾、応募額は384億香港ドル（11/16）
- ・ 中国、ユーロ建て国債発行で世界の主要金融機関を引受先に選定（11/17）
- ・ 中国国策会社の紫光集団が実質デフォルト＝半導体国産化に暗雲（11/18）

○労務

- ・ 9月の台湾失業率、3.83%＝0.16ポイント改善（10/23）
- ・ 中国、工場労働者不足に直面＝新型コロナ一服で（11/3）
- ・ 8～10月の香港失業率、6.4%＝7～9月から横ばい＝統計局（11/18）

○社会

- ・ 広州モーターショー、11月20日開幕＝広東省（10/21）
- ・ 中国、人口の半分が月収2,000元以下＝対外自立経済の重荷に＝専門家（10/22）
- ・ 中国長者番付、アリババ馬氏が4度目首位＝農夫山泉創業者が初ランク入り（10/22）
- ・ インフルワクチン供給不足＝コロナで需要急増、各地で接種待ち（10/27）

- ・ 上海、域外ナンバー車両の走行規制を強化＝渋滞解消で（10/27）
- ・ カシュガル地区、コロナ感染者確認で全域厳戒態勢＝新疆ウイグル自治区（10/27）
- ・ PCR470万人、感染183人＝中国・新疆、拡大の可能性否定―新型コロナ（10/29）
- ・ 「中国製」表示巡り WTO 手続き開始、香港政府(11/2)
- ・ 中国、国際輸入博開幕＝米と対立も巨大市場アピール（11/5）
- ・ 広東マカオから戻る香港市民、23日から検疫免除(11/12)
- ・ 香港入境時の強制隔離、13日からホテルでの実施義務づけ(11/15)
- ・ 中国人の海外旅行復活、22年以降に＝著名感染症専門医が予測―上海市（11/17）

○商業

- ・ 1～9月の香港住宅賃料、4.1%低下＝美聯物業調べ（10/23）
- ・ アリババ、7～9月期売上高30%増＝コロナ一服でも巣ごもり消費好調（11/5）
- ・ 中国、電子商取引の監視強化へ＝アリババやテンセントに影響（11/11）
- ・ アリババ「独身の日」セール、今年は7.9兆円＝昨年より倍近く―中国（11/12）
- ・ 天津、「独身の日」シーズンの越境EC輸入額が11%増（11/16）
- ・ アントのIPO中止、杭州不動産市場を直撃＝浙江省（11/18）

○製造

- ・ 中国の自動車保有台数、2.75億台＝9月末（10/22）
- ・ 中国、35年にすべて環境対応車＝ガソリン車排除―新指針公表（10/28）
- ・ 米GE、武漢の発電設備合弁解消か＝湖北省（10/29）
- ・ テスラの中国生産車、欧州に初輸出＝上海市（10/29）
- ・ 10月の中国製造業PMI、51.4＝2カ月ぶり小幅低下―回復基調は維持（11/2）
- ・ 自動車メーカー、販売好調で増産態勢―台湾（11/2）
- ・ 半導体設備輸出、19年も過去最高更新＝約3,400億円―台湾（11/2）
- ・ 中国、25年の新エネ車販売、20%目標＝大幅上積み目指す（11/3）
- ・ ファーウェイ、上海に半導体工場建設か＝米の技術排除（11/3）
- ・ トヨタ、10月の中国新車販売は33.3%増＝7カ月連続プラス（11/5）
- ・ ホンダ、10月の中国新車販売は22.3%増＝4カ月連続プラス（11/5）
- ・ 日産自、10月の中国新車販売は5.0%増＝2カ月連続プラス（11/5）
- ・ 自動車、中国生産が急回復＝米中対立で依存リスクも―トヨタなど（11/9）
- ・ 10月の中国新車販売12.5%増＝6カ月連続で2桁の伸び（11/12）
- ・ 中国の10月スマホ出荷、27%減＝需要低迷（11/16）
- ・ 華晨汽車の民事再生、債権者のプレス金型会社が申請（11/17）
- ・ スマホ事業を一部売却＝米制裁の影響深刻化―ファーウェイ（11/17）
- ・ FCVの道路清掃車とごみ収集車公開＝冬季五輪に投入―北京（11/17）

○運輸

- ・ 上海、広州、深センの空港、回復傾向強まる（10/22）
- ・ 10月の香港旅客数、99.8%減の7,817人＝観光局(11/18)

<出所：時事速報・NNA>

東アジア駐在員コラム

－上海冬の風物詩グルメ編「糖葫芦」－

国慶節²を過ぎると、いよいよ上海にも冬の足音が聞こえ始める季節です。この時期の名物料理といえば上海蟹や火鍋などが有名ですが、今回は冬の風物詩として、当地の B 級グルメ「糖葫芦 (tang-hu-lu : タンフールー)」を紹介いたします。

1. 「糖葫芦」とは？

糖葫芦は、中国原産の果物「サンザシ（山査子）」を串刺しにして水飴で固めたものです。当地でサンザシは健胃・整腸などに効く漢方の原料としても比較的ポピュラーで、小さな赤い実と甘酸っぱい味が特徴です。見た目はあんず飴に良く似ていますが、水飴が日本のものよりパリパリとした食感で、果実の酸味との組み合わせが絶妙です。



<店頭に並ぶ糖葫芦>

2. 今昔物語

糖葫芦は北京をはじめとする中国北部の伝統的なお菓子で、商品を一杯に積んだ自転車屋台が街中に現れると、人々は寒い冬の訪れが間近に迫っていると感じたそうです。現在ではイチゴや葡萄、キウイといった様々なフルーツが使われるようになり、ショッピングセンター内の常設店舗などでいつでも購入できます。また、各地の老街（昔ながらの古い街並み）や上海近郊に数多く残る水郷古鎮（水路で形成された昔ながらの民家などが並ぶ古い街並み）などの観光地では必ずと言ってよいほど販売されているので、糖葫芦を片手に名所旧跡を散策するのもおすすめです。

3. 周辺国へ人気拡大中

様々な果物でカラフルに彩られた糖葫芦は、単に美味しいだけでなくフォトジェニックないわゆる「SNS 映え」の対象となり、若年層を中心に台湾や韓国などでも人気となっています。かつてのタピオカティーのように、本邦にも伝播し人気商品となる日が訪れるのか、行く末を楽しみに見守りたいとおもいます。

今も昔も人々に愛され続ける冬の風物詩「糖葫芦」。この古き良き食文化は時代とともに移り変わりつつも、今後もたくさんの幸せを運んでくれることでしょう。

（常陽銀行上海駐在員事務所 主任駐在員 青柳暢幸）

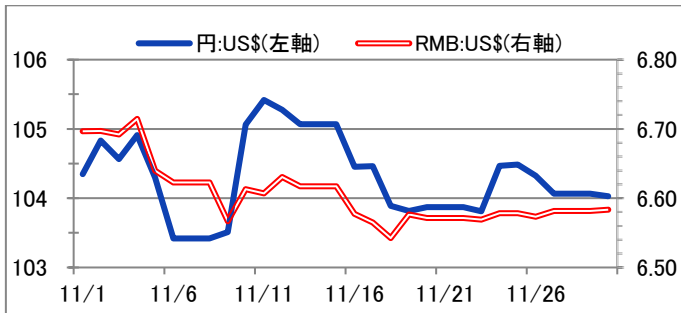
² 10月1日の中国建国記念日から始まる7日間の大型連休。

株式市場・為替情報

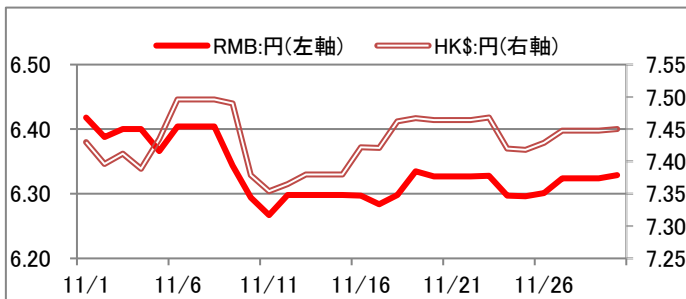
1. 為替市場

	月初	高値	安値	月末
円/米ドル	104.35	105.42	103.42	104.03
人民元/米ドル	6.6968	6.7144	6.5425	6.5836
香港ドル/米ドル	7.7526	7.7545	7.7502	7.7507

	月初	高値	安値	月末
人民元/100円	6.4180	6.4180	6.2670	6.3290
香港ドル/100円	7.4300	7.4960	7.3540	7.4500
台湾ドル/円	0.2738	0.2760	0.2708	0.2744



出所：中国外貨管理局（人民元）および時事通信参考値（人民元以外）



【為替市場（11月）レビュー】

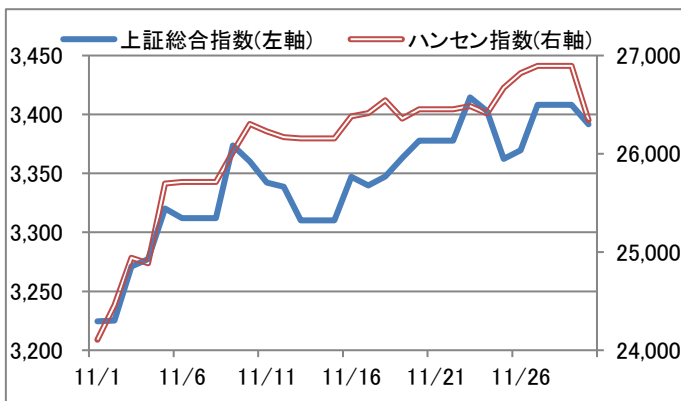
米大統領選の結果、バイデン氏の勝利と共和党の上院過半数獲得による議会のねじれから、米金利が低下し米ドル安人民元高が進行し、1米ドル=6.50人民元前後で推移する展開となった。

【為替市場（12月）見通し】

米国ではワクチン開発期待や経済政策期待はあるが、感染者増加による経済停滞が続くことにより米金利は抑制され、米ドル安人民元高の地合いが継続されるものと予想される。

2. 株式市場

	月初	高値	安値	月末
上海総合指数	3,224.53	3,414.49	3,224.53	3,391.76
香港ハンセン指数	24,107.42	26,894.68	24,107.42	26,341.49
台湾加権指数	12,546.34	13,878.01	12,546.34	13,722.89



出所：各証券取引所

【株式市場（11月）レビュー】

米大統領選にてバイデン氏が当選を確実にし、不透明感が払拭されたことで株価は大きく上昇。その後も、新型コロナワクチン開発の進展が好感され、堅調に推移した。

【株式市場（12月）見通し】

退任を控えるトランプ政権が対中制裁を強化する懸念はあるが、中国経済の回復が進んでいることに加え、中国政府の政策期待も相場の支援材料となろう。香港では新型コロナ第4波が到来しているが、ワクチン開発の進展も報道されており、影響は限定的とみられる。

めぶき FG アジアネットワークのご紹介

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴェイエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行（インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府 ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

